

体育器具保守点検業務

参考資料 1 5

1 目的

この業務は、施設の敷地内の体育器具を常時安全かつ良好な状態に保つと共に、破損部分の早期発見、それによる事故防止を目的とする。

2 対象施設

体育器具

3 点検項目

体育器具／各施設体育館等にあるバスケットゴール、バレーボール・バトミントン等の支柱及び支柱受け、卓球台、鉄棒、トランポリンなど

4 点検回数

日常点検

定期点検（安全検査） 1 回/年

5 定期点検整備の内容

(1) 業務実施にあたっては、「事故防止のためのスポーツ器具の正しい使い方と安全点検の手引き（以下「安全点検の手引き」という）」（（公財）日本体育施設協会施設用器具部会）に基づき調査及び点検を行うこと。

(2) 保守検査

①基礎地盤	基礎	地盤	鋼材
②材 料	化学製品	仕上げ	骨格寸法
③構 造	部材損傷	接合	柱脚

(3) 保守作業 ①点検 ②調整 ③締付 ④給油 ⑤防腐

⑥清掃 ⑦防護 ⑧交換 ⑨取付 ⑩取外

(4) 安全検査

安全点検の手引きに基づき基本調査項目の調査を行うこと。

(5) 使用状態における性能を総合的に判断し異常や不具合を発見した場合は、豊田市に報告し豊田市と指定管理者が協議の上、適切な処置を施すこと。

6 その他

(1)点検の実施にあたっては、業務・施設利用に支障を及ぼさない日時に行うこと。

(2)本業務は原則として、通常の勤務時間内に実施するが、不時の不具合等が発生した場合、指定管理者は修理・復旧に努めること。ただしその費用は指定管理者の負担とする。

(3)本業務の実施にあたっては、各分野に経験豊富で専門的な知識を有する優秀な技術者を派遣すること。

(4)点検整備中に発見された不良箇所、不良機器については、速やかに豊田市に報告し、豊田市と指定管理者が協議の上、処理すること。ただし、但し、軽微な修理、部品については指定管理者の負担とする。